

2019(平成 31)年度兵庫県老人クラブ連合会事業計画

第1 基本方針

人口が減少する時期を迎え、団塊の世代と呼ばれる方々が高齢化する中で、元気な高齢者には社会の支え手として益々活躍が期待されている。こうしたことから、「健康」「友愛」「奉仕」の三大運動のもと、健康寿命をのばす継続的な健康活動とともに、地域で助け合い・支え合いの活動を行ってきた老人クラブに対しては、これまでの活動経験を生かせる「地域支援事業」への参画等、安心して暮らせる地域社会づくりの担い手として、地域ニーズに応じた活発な活動が期待されている。

また、老人福祉法制定当初と現在とでは、社会の状況や人々の価値観が大幅に変わっていることから、社会の変化に対応した今日的な「老人クラブのあるべき姿」を追求し、老人クラブ会員が楽しさとやりがいを実感できる活動にしていくことが求められる。

公益財団法人兵庫県老人クラブ連合会は、社会に開かれ信頼される老人クラブとして、高齢者の健康寿命をのばす健康づくりや介護予防活動、ひとり暮らし・高齢者夫婦世帯への声かけ等の友愛活動、並びに「新地域支援事業」における生活支援の担い手としての参加、子育て支援等次世代の育成や見守りに取り組む。さらに、東日本大震災等の被災地支援活動、高齢者の交通安全、高齢消費者被害防止、美化・環境にやさしい活動等も推進していく。

また、市町老連会長研修会やスポーツ大会の開催等により、ブロック・市町老連間の交流を図るとともに、先駆的な取組事例についてホームページなどを通じて情報発信するなど、市町老連や地域の老人クラブが、単独では実施しにくい諸活動を支援する。

さらに、平成30年度まで会員増強運動として、組織の基盤である会員の増強に取り組んできたが、老人クラブの解散や休止があり、会員数やクラブ数が減少した。これまでから各市町老連においては、「魅力ある老人クラブづくり、クラブの活性化」を目指して精力的な取り組みが展開されてきたところですが、今後も女性・若手会員の力を活用した活動により、新たなニーズに対応した活動を実践し、老人クラブの充実を図っていくことで、会員増強に繋げていく。

第2 重点事業

- (1) 高齢者の健康づくり・生きがいづくり事業の推進
- (2) 高齢者の福祉増進のための人材育成及び普及啓発事業の推進
- (3) 高齢者問題に関する調査・研究事業の推進
- (4) 市町老人クラブの強化育成事業の推進

第3 事業内容

1 高齢者の健康づくり・生きがいづくりに関する事業

- (1) 健康づくり・介護予防事業（各ブロック開催@7万円）
- (2) 若手委員が取り組む老人クラブ活性化事業（各ブロック開催@5万円）
- (3) 第6回健康ウォークラリー県大会（10月29日 豊岡市）
- (4) 第7回グラウンド・ゴルフ県大会及び交流戦（9月27日 芦屋市）
- (5) 高齢者ニュースポーツ活動の促進
- (6) 高齢者による地域の子どもの見守り、防犯、消費者被害・詐欺対策、美化・環境にやさしい活動、交通安全指導などの社会貢献活動の推進
- (7) 祖父母世代による育児や子育て支援活動、在宅福祉を支える友愛活動等による地域の安全・安心暮らしづくりの推進
- (8) 「老人の日(9月15日)・老人週間(9月15日～21日)」「社会奉仕の日(9月20日)」における実践活動の推進

2 高齢者の福祉の増進のための人材育成及び普及啓発に関する事業

- (1) 兵庫県高齢者の集い（9月中下旬 県公館）
知事と県老連役員等との意見交換会を集いの前に実施
- (2) 高齢者リーダー等の養成事業
 - 1) 市町老連会長研修会(7月9・10日 舞子ビラ神戸)
 - 2) 女性・若手リーダー研修会（拡大4ブロック）
対象：市町老連の女性・若手リーダー
 - 3) 新任会長・新任事務局長（担当者）等研修会（5月評議員会終了後）
- (3) ふれあいの祭典(ひょうご健康福祉まつり)出展参加（三木総合防災公園）
- (4) 広報紙「きずな」の発行（10月、3月）及びホームページによる広報・情報提供
- (5) 老人クラブ会員章の普及、全老連60周年記念会員章の普及(2019(平成31)年度～2022年度)

3 高齢者問題に関する調査・研究事業

- (1) 老人クラブ関係資料集の作成
- (2) ブロック・市・町老連便覧の作成

4 老人クラブの強化育成に関する事業

- (1) 老人クラブ会員加入促進活動の推進
平成30年度まで取り組んできた全老連提唱の会員増強運動に続き、今後も女性・若手会員の力を活用した活動等により、新たなニーズに対応した活動を実践し、老人クラブの充実を図っていくことで、会員増強を積極的に推進していく（2019(平成31)年度～）。

(2) 市町老連の活動に対する支援

老人クラブ活動組織の活性化等を図るために各ブロックに対し、地区強化費（1ブロック平均18万円×9ブロック）を助成する。

ブロック内市町老連の連携を密にするため、ブロック主催協議会・交流会を開催し、「ブロック地区強化費」を効果的に活用する。

- ① ブロック連絡協議会（各ブロック4回程度）
- ② 女性交流会・研修会（各ブロック2回程度）
- ③ 若手交流会・研修会（各ブロック2回程度）

(3) 単位クラブ・市町老連活動支援事業（のじぎくクラブ兵庫助成事業）

老人クラブ活動の活性化と地域の元気づくりを図るため、新たな事業を取り組む単位クラブ又は市町老連等に対し、事業費を助成する。

(4) 各種団体等との交流

- 1) 第48回全国老人クラブ大会（11月26日～27日 埼玉県）
- 2) 第32回全国健康福祉祭（ねんりんピック）（11月9日～12日 和歌山県）
- 3) 近畿ブロック老人クラブリーダー研修会（6月13日～14日 大阪市）
- 4) 大阪府老連若手委員会との交流会

(5) のじぎくクラブ兵庫サポーター制度

(6) のじぎくクラブ兵庫農園の運営

(7) 地震等災害対策の意識啓発及び東日本大震災等の被災地県・市老人クラブ連合会への支援活動

阪神・淡路大震災の経験を踏まえ、地震等災害の対策への意識啓発を図るとともに、阪神・淡路大震災で支援を受けた本クラブとして、2019（平成31）年度も引き続き東日本大震災等の被災地に対し、心のケアの支援や季節に合わせた真心のこもった品を贈るなどの物心両面からの支援活動を進める。東日本大震災等の被災地支援活動資金については、チャリティーバザー等を実施する。

(8) スポーツ活動への取組み強化

「ワールドマスタースゲームズ2021 関西」（以下、WMG）開催に向け、高齢者の競技等への参加を促進するための講習会、競技会等を市町老連で実施し、老人クラブ会員が実施競技に選手やボランティアとして参加することを促進する取組みを行う。

・対象となる競技はWMG実施種目で、講習会には兵庫県体育協会から講師派遣を受ける。事業には、会員外の参加を認める。

(9) 高齢者の防災能力の向上と防災意識強化への取組み

平成30年7月豪雨災害において多くの高齢者が被災するなど、高齢者の災害時における自助能力や日頃の防災意識の向上が課題となっている。老人クラブにおいても、兵庫県からの委託事業として、防災研修会や防災施設見学会を実施し、災害時に高齢者が早期に避難する必要性への意識啓発

等を行う。

- ・ブロック代表者を対象に防災ピアリーダー研修会を実施
- ・市町老連、単位クラブで防災研修会や防災施設見学等の事業を実施
- ・広報紙「きずな」により早期避難の重要性等を啓発

(10) 高齢者の消費者被害防止への取組み

広報紙やホームページの広報媒体、各種会議、研修会を通じて、消費者被害の実態を周知し、詐欺被害の防止を図る。

(11) 高齢者の交通事故防止対策

歩行者の道路横断時の被害事故や、高齢ドライバーによる事故防止を啓発し、高齢者が関わる交通事故の減少を図る。

5 会の運営

(1) 役員会の開催（定例会のほか、必要に応じ随時開催）

- 1) 評議員会 定例会 2回
- 2) 理事会 定例会 4回
- 3) 監事会 定例会 1回
- 4) 正副会長会 定例会 4回
- 5) 部会（総務財政、調査広報、企画事業）定例会 3回
合同部会 1回（定例会と同日に3部会合同で部会を開催する）
- 6) 委員会（女性・若手委員会） 定例会 3回

(2) ブロック・市町老連事務局長・担当者会議の開催

(3) 表彰・感謝

- 1) 県老連会長表彰・感謝
 - ① 老人クラブ育成功労者
 - ② 優良老人クラブ
 - ③ 優良市町老人クラブ連合会
 - ④ 仲間づくり優良老人クラブ、市町老人クラブ連合会
 - ⑤ 市町老連永年勤続職員
 - ⑥ 感謝（協力者）
- 2) 全老連会長表彰
 - ① 老人クラブ育成功労者
 - ② 優良老人クラブ及び優良市町老人クラブ連合会
 - ③ 永年勤続職員

≪全国大会で表彰される全老連会長表彰の優良老人クラブ及び優良市町老連の2019(平成31)年度推薦予定ブロック≫

阪神南・阪神北・東播磨・北播磨

- 3) 全老連活動賞・100万人会員増強運動特別賞
- (4) 関係機関・団体との連携
 - 1) 全老連・近畿老連協議会との連携
 - 2) 関係機関・団体との連絡協調
 - 3) 予算確保要望の推進（国・県・県議会）
- (5) 老人クラブ傷害保険・賠償責任保険への加入促進